



静岡県地方版
第372号
2022-12-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの
運動の基本

いのちとくらし破壊する政治はゴメン

県本部理事 寺尾 昭

政治の役割は何か。ひと口で言えば国民のいのちとくらしを守ることです。岸田首相は12月8日、折りしも日本がアジア太平洋戦争に突入した真珠湾攻撃のその日に、軍事力強化のため23年度からの5年間で43兆円を充てること、そのために27年以降毎年新たに4兆円の財源が必要であると表明、大軍拡と大増税を行うことを明らかにしました。その目的は、トマホークなど人殺しの道具の大量買い入れなどで敵基地攻撃能力を持つことです。敵基地攻撃能力の使用は日本に対する甚大な報復攻撃を招き、日本を守るどころか戦争につながります。それは憲法に真っ向から反し、国民の生活を破壊します。ロシアによるウクライナへの侵略は10か月になりましたが、たくさんの人々が傷つき、生命を奪われていきます。国土の破壊は目に余ります。ロシア軍の兵士の死者も少なくないと報道されています。

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

一旦始まった戦争は、戦争の勝ち負けに関わらず双方に多大な犠牲を拡大しています。そして戦いがいつ収束するか、全く目処はたっていないません。

いかにして戦争にさせないようにするのが国の最大の責任です。中国や北朝鮮の脅威を煽るばかりで、外交交渉の糸口さえつけない岸田政権の大軍拡と大増税の方向は、いのちとくらしを破壊する何ものでもありません。

田辺信宏静岡市長は、12月2日、来年4月の市長選挙に出馬しないことを表明しました。市長は来年度からスタートする4次総（静岡市第4次総合計画）を策定、その推進に並々ならぬ意欲を示していました。しかし4次総には海洋文化施設（水族館）、清水市庁舎、アリーナ、サッカースタジアムなど大規模ハコモノ建設計画が目白押し、その財源については市民生活への影響は避けられないと市民から批判が高まっていました。15号台風への対応の不十分さが理由となったことを語った市長でしたが、市民のいのちとくらしを守れなくなることが真の理由と考えるなりません。（静岡市議・てらお あきら）

第2回県本部理事会を開催

12/13 静岡市の国労会館において第2回県本部理事会が、理事12人の参加のもとに開催されました。

最初に江川佐一会長が、岸田政権の危険な大軍拡路線を批判するとともに暮らしと平和を守るために「わが青春つぎるとも」の上映も力に強く大きな同盟づくりを呼びかけました。続いて早崎末浩事務局長が、情勢とともに活動のまとめと今後の活動方針について報告しました。

情勢では、岸田政権が戦後最悪の大暴走で戦争国家づくり

第37回静岡県解放戦士の碑合葬追悼会を開催

11/20 静岡市の愛宕霊園にある静岡県解放戦士の碑前で3年ぶりに静岡県解放戦士追悼会が開催され、今回は66名が



合葬されました。

阿部浩基国民救援会会長の主催者あいさつの後、各団体が追悼の辞。国賠同盟からは山田巖副会長が伊藤千代子の生き方にもふれ、たたかう決意を語りました。

と暮らし破壊へ突き進んでいる問題を指摘しました。

敵基地攻撃能力の保有と大軍拡政策によって、安保法制の下では先制攻撃となりかねず、日本国民を戦争に巻き込むことになります。また、軍拡財源の負担を国民に強いるものとなり、国民の暮らしますます圧迫します。「軍事対軍事」ではなく平和外交こそ求められます。さらに、原発再稼働や新增設など政策転換、年金・医療・介護の大改悪をはかつており、国民の福祉や暮らしを守るための重要性があります。

今後の活動方針では、「わが青春つぎるとも」の上映会を力にした国賠同盟の会員拡大に意識的にとりくむことの必要性が語られました。参加者のアンケートからも大きな感動を与えていることは明らかですが、初めて治安維持法の問題に触れた方も多くいますので、率直に感想も伺いながら国賠同盟の紹介と入会の呼びかけを行うことが大事になります。そして、国賠同盟の運動と役割をしっかりとつかんでいく上でも『治安維持法と現代』誌などを使った学習をすすめることが大事です。また、来年5月の50回目の国会請願行動に向けて国会請願署名を全会員のとりくみにして、団体署名500、個人署名5000をやり遂げていくことの必要性が訴えられました。

私と国賠同盟

中東遠支部 鴨川 登

私が国賠同盟の活動に関わり始めたのは二〇二一年11月に中東遠支部が結成されてからです。治安維持法で弾圧された戦前の歴史は一般的には承知していましたが、弾圧された人たちに対する国家賠償を要求する組織が活動していることについて深くは理解していませんでした。中東遠支部が結成されて支部委員となり、毎月の支部委員会で「治安維持法と現代」の学習を重ねる中で、治安維持法が過去の法律ではなく、現代の政治体制の中に組み込まれていることを学びました。また、この9月には、映画「わが青春つきるとも」の上映運動にも取り組み、二五〇名の鑑賞で成功することができました。こうした学習、運動への取り組みにより、国賠同盟の活動の意味が分かってきた気がします。単なる歴史の勉強ではなく、過去から現代に続く我々の運動の積み重ねと一方での治安維持法の問題を引き継ぐ反動側の目論見を意識しながら活動を粘り強く続けていきたいと思っています。

(掛川市・かもがわ のぼる)

11月、各地で「わが青春」上映会開催

「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の上映会は、11/11 藤枝市生涯学習センターホール夜1回で116人。11/18 浜北文化センター小ホール午後と夜の2回で241人。11/19 はーとぴあ清水6階ホール午前、午後、夜の3回で201人。11/20 浜松市地域情報センター午前、午後、夜3回で254人が鑑賞。4月の島田での228人、9月の袋井245人、三島476人と、これまでに県内で合わせて1761人の参加者に大きな感動を与え、国賠同盟への入会者も広がっています。

志太榛原支部と中東遠支部が第2回大会

昨年11月、中部支部を分割して発足した志太榛原支部と中東遠支部が11/27に第2回大会を開催しました。2つの支部ともそれぞれ当初の会員拡大目標である130人、95人を超過達成しての大会となっており、県同盟が掲げる520人目標実現に向けてそれぞれ140人と110人を次期支部大会までに達成することを決めました。また、新たな支部委員会も確立。志太榛原支部では新たに1人増やして7人、中東遠支部では体調不良で2人の交代を女性が担う6人体制で、新たな前進を開始しています。

会員拡大と国会請願署名到達

2022・12・13現在

支部	会員拡大					国会請願署名							
	目標	10月 到達	増減	現在 到達	うち夫 婦会員	団体 目標	10月 到達	増分	現在 到達	個人 目標	10月 到達	増分	現在 到達
伊豆	27	20		20	6	50	1	+1	2	350	0	+15	15
沼駿	60	55		55	14	60	6	+11	17	800	35	+25	60
岳南	25	19		19	6	40	1	+11	12	350	0	+40	40
清水	45	34		34	8	60	1		1	1,100	30	+25	55
静岡	45	37	-1	36	2	80	0		0	500	0		0
志太橋原	130	130	+1	131	34	50	5	+2	7	400	48	+5	53
中東遠	95	99	+3	102	18	50	6	+20	26	400	53	+119	172
西部	73	61	+3	64	4	80	2	+1	3	750	41	+25	66
県本部	-	-		-		30	1		1	350	0	+42	42
合計	500	455	+7-1	461	92	500	23	+46	69	5,000	207	+296	503

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

冬の地下 春への芽や根の すさまじさ
人はたゆまず 平和を築く

未来担う 幼児達（おさなご）を 守りぬく
箱物でなく 保育所増やして

日本は世界一 美しい国と
危機切々と説く 海外識者

COP27・15 水と生物のフォーラムの
危機から憂う 南アルプス

野ボタンの 濃いむらさきの花 樹を包む
コートダジュールと 呼ぶ訳を知らざり

編集後記

静岡 松浦美智世

▼内閣支持率が低下するも「決められない内閣」「決断が遅い」と評されていた岸田首相が、ここに来て「大軍拡」や「原発再稼働」など次々と難題を強行突破する方向に転じている。
▼「聞く耳」を標榜して登場したものの、国民の声をしっかりと聞いてはもらえないようだ。国会議席の多数を背景に悪政をこり押しすることは許されない。来年はいつせいで方選。政治の転換をはかる粘り強いたたかいが求められる。 S・H

